

保健センターだよ!

保健センター
☎82-3111 (内線511)
直通75-6230

子宮頸がん 9価の「HPVワクチン」を 公費で接種できるようになりました

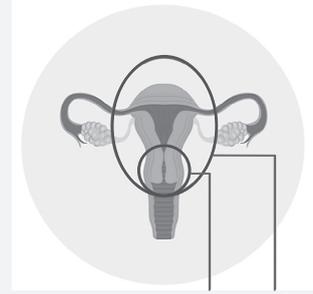
3 すべての人に
健康と幸せを



子宮頸がんの現状

子宮頸がんは、子宮の頸部（子宮の出口付近）にできる「がん」です。

日本では、毎年 11,000 人の女性がかかる病気で、さらに毎年、約 2,900 人の女性が亡くなっています。子宮頸がんと新たに診断される女性は、20 歳代から増え始め、30 歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）方も 1 年間に約 1,000 人います。25～40 歳の女性のがんによる死亡の第 2 位は、子宮頸がんによるものです。



頸部 子宮

HPVワクチンとは

HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンです。ワクチンは、防ぐことができるHPVの種類（型）によって、2価ワクチン（サーバリックス）、4価ワクチン（ガーダシル）、9価ワクチン（シルガード）の3種類あります。

9価ワクチンは、9種類のHPVの感染を防ぐワクチンで、その中でも子宮頸がんの原因の 80～90% を占める、7種類のHPVの感染を予防することができ、令和5年度から公費で接種できるようになりました。

HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されています。

HPVワクチン接種

	定期接種	キャッチアップ
対象者	平成 19 年 4 月 2 日 ～平成 24 年 4 月 1 日生まれの女性 (小学校 6 年～高校 1 年相当の女性)	平成 9 年 4 月 2 日 ～平成 19 年 4 月 1 日生まれの女性 (上記のうち、小学校 6 年から高校 1 年の頃に 接種の機会を逃した女性)
接種回数	3 回 ただし、15 歳までに 9 価ワクチンで接種を 開始した場合は 2 回	3 回 すでに 1 回または 2 回接種済みの方は残り の回数
接種期間	高校 1 年相当の年度末まで	令和 7 年 3 月末まで
費用	無 料	
実施医療機関	【町内】いろかわ医院（☎82-2143） こうだ内科（☎75-7887） 武市医院（☎82-2606） 【町外（県内）】実施の有無については、直接医療機関へお問い合わせください。	

HPVワクチンのリスク

ワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

HPVワクチン接種の償還払い

HPVワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃して自費で受けた方に対して、費用の償還払いを実施しています。詳しくは町ホームページをご覧ください。

町HP



HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳になったら、2年に1回、検診を受けましょう。町でも子宮頸がん検診を実施しています。詳しくは保健センターにお問い合わせください。